



「ゴールテープをきれるまで」
国神小6年

新原 楓愛さん
ふうあ



九月十九日に小学校生活最後の運動会があった。当日は、少し雨が降っていて残念だった。学校では、みんなきんちようしようしていた。いよいよ、最後の運動会が始まった。最初は良い感じだったが、とちゅうから赤組に逆転されてしまった。そのまま、最後の種目を迎えた。最後の種目は、全校リレー。一番得点が高い種目だ。私は初めてアンカーになった。白ほうしのアンカーとして、休みに学校に来て走った事もあった。私の目標は、ゴールテープを一番にきる事だ。「二位になって、優勝する。」そうみやびちゃんと約束した。だからがんばれた。一年生を、団長を勝たせてあげたいという気持ちが強かった。全校練習では、二位

や三位が多く、おしくも一位が取れなかった。バトンミスが多かったからだ。そこで、チームの五、六年生を集めてバトン練習もした。すると、運動会の前日に初めて一位が取れた。うれしかった。みんなが喜んでる顔が見れてうれしかった。そこで私は、(当日一位を取って、みんなを喜ばせたい)そう思った。いよいよスタートの音が鳴った。今までは、四位でスタートしていたが本番では二位でスタートした。私は一人一人応援し、アドバイスもした。自分の番が近づいてきた。と、ここで私の前のあおい君がバトンを落としてしまった。私はあせった。しかし、バトンを拾い、全力で走って来て、バトンを繋いでくれた。私は、(みんなの思いを繋がないと。)と思った。バトンは一番でわたされた。正しき、(ここでぬかされてしまった)たらどうしよう。みんなになんて言われるだろう。(と怖かった。でも、みんなのために、自分のために、全力で足を動かした。前を見ると、ゴールテープがあった。私は一位でゴールした。ついに、ゴールテープをきった。そのしゅん間、みんながとびあがり、喜んだ。私はあまりにもうれしくて、なみだが出そうだった。結果発表の時、私は思いつき喜んだ。気持ちがよくあった。その後、すぐみやびちゃんのもとへ行った。笑顔で、「ありがとう。」と言ってくれた。私はそれがすごくうれしかった。結果は、白組が逆転で優勝した。うれしくて、なみだがでてきた。でも言葉はでなかった。六年生にとつて、最高の運動会だった。みんな満ぞくした笑顔だった。残り半年。八人で繋いでいきたい。(評) みんなの思いが込められたバトンを最後まで繋ぐことができました。

三沢小5年

横田眞妃菜さん
まひな



道

小五 横田 眞妃菜
(評) 「しんにょう」の形に気をつけ、集中して書けました。

皆野小6年

金井 望愛さん
のあ



湖

小六 金井 望愛
(評) 大きさや位置がしつかり理解できバランスよく書けています。

「赤いインコ」とあそんだよ

皆野小2年

神田 龍さん
りゅう



(評) 中心となるオウムの色を細かいところまでこだわって塗ることができました。



「中津川」

皆野中1年

山田 紗羅さん
さら



(本人のコメント)昔から行っている中津川の絵を描きました。葉をていねいに書いた所が特徴です。